

令和7年度 学校評価の集計結果及び今後に向けて

長崎県立時和特別支援学校

- I 実施期間 令和7年12月 5日(金) ～ 22日(月)
- II 対 象 時和特別支援学校の保護者及び教職員
- III 回収率 保護者 94% (154/163)
- IV 結 果

I 保護者対象

(1) 評価から

- 『安全で安心できる学校』(①～⑤)については、5項目中4項目で令和6年度の評価を下回りました。
- 『学ぶことが楽しくなる学校』(⑥～⑩)については、5項目中4項目で令和6年度の評価を下回りました。
- 『お互いを認め合う学校』(⑪～⑮)については、5項目中3項目で令和6年度の評価を下回りました。
- 『一人一人の社会参加を支える学校』(⑯～⑳)については、5項目中全てで令和6年度の評価を下回りました。

	R6	R7		R6	R7
①	3.6	↓3.5	⑪	3.6	↓3.5
②	3.6	↓3.5	⑫	3.6	↓3.5
③	3.6	↓3.5	⑬	3.6	↓3.5
④	3.5	3.5	⑭	3.5	↑3.6
⑤	3.6	↓3.5	⑮	3.6	3.6
⑥	3.6	3.6	⑯	3.6	↓3.5
⑦	3.7	↓3.6	⑰	3.6	↓3.5
⑧	3.7	↓3.5	⑱	3.6	↓3.4
⑨	3.6	3.6	⑲	3.6	↓3.4
⑩	3.5	↓3.4	⑳	3.4	↓3.3

(2) 自由記述から

- 一人一人に応じた指導や保護者との情報共有についてお褒めの声をいただきました。
- 以下のことについて、改善等の要望の声をいただきました。
 - ▶ 指導時における教職員からの児童生徒への関わり方や言葉掛け
 - ▶ 運動会と時和祭の隔年実施
 - ▶ 学校公開等の地域への発信(時津だより等への掲載)
 - ▶ 校内の環境整備(車の通行経路の凸凹と安全確保、トイレ、遊具等)
 - ▶ 目標設定や指導が将来の姿にどう繋がっているのかを保護者と共有
 - ▶ 児童生徒の実態と活動内容に応じた実施時期、服装等のきめ細かい対応

2 教職員による自己評価

(1) 評価から

- 『安全で安心できる学校』(①～⑤)については、5項目中全てで令和6年度の評価を上回りました。
- 『学ぶことが楽しくなる学校』(⑥～⑩)については、5項目中全てで令和6年度の評価を上回りました。
- 『お互いを認め合う学校』(⑪～⑮)については、5項目中全てで令和6年度の評価を上回りました。
- 『一人一人の社会参加を支える学校』(⑯～⑳)については、5項目中4項目で令和6年度の評価を上回りました。

	R6	R7		R6	R7
①	3.4	↑3.5	⑪	3.4	↑3.6
②	3.4	↑3.6	⑫	3.3	↑3.6
③	3.4	↑3.6	⑬	3.4	↑3.5
④	3.5	↑3.6	⑭	3.4	↑3.6
⑤	3.0	↑3.2	⑮	3.4	↑3.6
⑥	3.3	↑3.5	⑯	3.5	↑3.6
⑦	3.4	↑3.5	⑰	3.5	↑3.6
⑧	3.4	↑3.5	⑱	3.2	↑3.4
⑨	3.5	↑3.6	⑲	3.4	↑3.5
⑩	3.3	↑3.4	⑳	3.2	3.2

(2) 自由記述から

- ・以下のことについて、改善等の必要があるという声がありました。
 - ▶ 教室や学習室の確保と環境整備

- ▶施設や設備の老朽化への対応
- ▶児童生徒、保護者、同僚に対するかかわりや言葉掛け

V 今後に向けて

◇今年度保護者の評価は、20項目中15項目で前年度を下回りましたが、評価ポイントは3.3~3.6という高い水準を維持しており、本校の教育活動が一定の評価を受けていると考えております。ただし、学部ごとの評価には、差がある項目もありますので、適切な指導や取組を継続してまいります。

◇今年度は保護者の評価は下がり、教職員の評価は上がったという極端な結果となりました。私たち教職員は両者の感覚の違いをしっかりと認識し、自己を過大に評価することなく、今後も学校目標実現に向けた丁寧な取組を継続してまいります。

	保護者	教職員		保護者	教職員
①	↓3.5	↑3.5	⑪	↓3.5	↑3.6
②	↓3.5	↑3.6	⑫	↓3.5	↑3.6
③	↓3.5	↑3.6	⑬	↓3.5	↑3.5
④	3.5	↑3.6	⑭	↑3.6	↑3.6
⑤	↓3.5	↑3.2	⑮	3.6	↑3.6
⑥	3.6	↑3.5	⑯	↓3.5	↑3.6
⑦	↓3.6	↑3.5	⑰	↓3.5	↑3.6
⑧	↓3.5	↑3.5	⑱	↓3.4	↑3.4
⑨	3.6	↑3.6	⑲	↓3.4	↑3.5
⑩	↓3.4	↑3.4	⑳	↓3.3	3.2

◇⑭「学校は、個別の教育支援計画に基づき、保護者と共通理解を図り、必要な指導と適切な支援をしている。」については、高い評価をいただきました。面談週間を設定し、面談のための環境整備を行ったことが評価につながったと考えます。今後もじっくり話せる環境を作ってまいります。

◇⑧「教職員は、情報機器を活用するなど教材や授業の進め方を改善・工夫し、「分かる授業」の実践に努めている。」については、保護者の評価が下がりはしましたが、3.5という高い評価は得られました。教材の紹介や児童生徒の学ぶ様子など、保護者への紹介をさらに進めてまいります。

◇⑲「学校は、進路先や福祉制度の情報提供を適切に行っている。」については、まだまだ改善の余地があるとの評価を受けました。情報発信において、<ニーズ>と<機会>に視点をもって、ホームページ等の活用をし、「知りたい」に応える情報発信をしてまいります。

◇⑳「学校は、時津町・長与町・長崎市北西部などの人が来校しやすい行事を設けている。」については、保護者・教職員共に改善の余地があるという評価でした。既存の行事の在り方を検討するとともに、情報発信の工夫等を進めてまいります。

◇日常生活動作や学習への取組の際、教職員の児童生徒への関わりや言葉掛けについて、いつ誰から見られても説明のできる児童生徒への働き掛けや言葉掛けができてきているかを日々見つけ直し、指導力の向上に努める教職員集団となるよう、さらに努めてまいります。そして、教職員全員が、児童生徒の立場に立った言葉掛けをしたり、相談を受けたりすることを実践し、安心して登校できる校風をさらに醸成してまいります。

◇安心・安全な施設設備については、教職員からも改善の余地があるという回答が寄せられました。学校施設の老朽化を危惧する思いがこの評価になっていると考えます。教職員による毎月の安全点検や学校安全衛生委員会で修理や修繕の必要な箇所を集約し、予算内で可能なことについての対応は、順次進めているところです。

◇毎日の送迎での校内最徐行に御理解と御協力を賜り、心から感謝申し上げます。校内の通路の改修につきましても、予算内で可能なことは順次進めてまいります。

◇個別の教育支援計画で設定する目標や行っている指導が、将来とどう繋がっていくのかということを共有してほしいとの要望がありました。進路指導部との連携を通して、学校と家庭が協力して指導する環境づくりを、これからも進めていくと共に、面談等の場で【学習活動の意図】や【この先の見通し】、【指導の在り方】等を丁寧に説明してまいります。